

西三河版



豊川の越冬白鳥
夏目 喜一
新城美術協会所属

必要最小限の備えを

刈谷 ママたちに防災セミナー

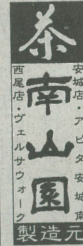


子育て中の母親たち向けの防災セミナー「やってみよう！初めての備え」が五日、刈谷市一ツ木町の一ツ木福祉センターであった。

市北部地区社会福祉協議会ハートの会が昨年が続いて企画。同市や知立市で乳幼児や小学生を育てる親た

非常食を試食してみ
る子どもたち―刈谷
市一ツ木町で

ちで二〇一六年に立ち上げた市民団体「防災



ママかきつばた」のメニューが講師を務めた。

セミナーでは子どもたちのための防災リュックに入れる物として、携帯トイレや一回分の着替えなど必要最小限の備えを提案。「初めの食品だと食べられない子もいるので、

食べ慣れたお菓子なども備えておくといい」などとアドバイスした。乳幼児を連れた十二組の参加者は、保存がきく切り干し大根やワカメで作ったサラダ、

缶詰のパンなどを試食した。かきつばたの高木一恵代表は「やることはいっぱいあるが、無理なく一つずつやっていくことが大切」と訴えた。(土屋晴康)